



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 ニッコンホールディングス株式会社
 コード番号 9072 URL <http://www.nikkon-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒岩 正勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 忝田 泰典

TEL 03-3541-5330

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月12日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	199,512	0.9	20,890	4.3	22,525	2.3	16,721	13.2
2019年3月期	197,693	5.3	20,028	5.4	22,019	6.3	14,768	1.5

(注) 包括利益 2020年3月期 12,691百万円 (7.5%) 2019年3月期 11,806百万円 (26.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	254.01	253.11	8.8	7.6	10.5
2019年3月期	221.03	220.22	8.0	7.6	10.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 472百万円 2019年3月期 647百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	297,489	193,296	64.8	2,932.77
2019年3月期	294,213	186,900	63.3	2,810.70

(参考) 自己資本 2020年3月期 192,780百万円 2019年3月期 186,338百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	25,901	19,867	584	30,820
2019年3月期	25,337	16,892	11,659	25,231

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		32.00		35.00	67.00	4,467	30.3	2.4
2020年3月期		38.00		38.00	76.00	4,995	29.9	2.6
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	68,239,892 株	2019年3月期	68,239,892 株
期末自己株式数	2020年3月期	2,506,382 株	2019年3月期	1,943,839 株
期中平均株式数	2020年3月期	65,830,837 株	2019年3月期	66,816,498 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	11,010	5.7	9,655	6.9	9,958	5.4	10,323	13.7
2019年3月期	10,413	22.1	9,030	3.2	9,444	1.1	9,075	5.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	156.81	156.26
2019年3月期	135.83	135.33

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	192,340	111,625	57.9	1,693.28
2019年3月期	185,870	110,838	59.4	1,666.52

(参考) 自己資本 2020年3月期 111,305百万円 2019年3月期 110,483百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、決算説明会を見合わせることにいたしました。決算説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、消費増税や新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気は大幅に下押しされ、先行きは予断を許さない状況が続くものと思われまます。

物流業界におきましては、慢性的な労働力不足や競争の激化などにより、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、このような経営環境のもと、国内では滋賀県長浜市、熊本県菊陽町及び三重県いなべ市、海外ではタイ国及びメキシコ国に倉庫を新增設するなど、積極的な設備投資や営業活動を行ってきた結果、売上高は前年同期比0.9%増の1,995億12百万円となりました。

営業利益につきましては、増収効果や業務の効率化などにより前年同期比4.3%増の208億90百万円となりました。

経常利益につきましては、為替差損の計上などにより前年同期比2.3%増の225億25百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益及び固定資産売却益の計上などにより前年同期比13.2%増の167億21百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

運送事業

貨物取扱量の増加などにより、売上高は前年同期比0.4%増の936億47百万円となりました。営業利益は、人件費や減価償却費の増加などにより、前年同期比4.9%減の52億円となりました。

倉庫事業

保管貨物量の増加により、売上高は前年同期比8.2%増の310億56百万円となりました。営業利益は、人件費や減価償却費の増加はありましたが、増収効果や保管効率の向上などにより前年同期比21.0%増の77億51百万円となりました。

梱包事業

業務量の減少により、売上高は前年同期比0.6%減の468億82百万円となりました。営業利益は、減収の影響などにより、前年同期比7.4%減の37億5百万円となりました。

テスト事業

業務量が前年並みとなったことから、売上高は前年同期比3百万円減少の222億9百万円となりました。営業利益は、業務の効率化などにより前年同期比2.5%増の40億1百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は734億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億63百万円増加しました。これは主に現金及び預金が145億62百万円増加した一方、有価証券が93億79百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,240億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億87百万円減少しました。これは主に投資有価証券が60億58百万円減少した一方、有形固定資産が54億3百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,974億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億76百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は544億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億16百万円増加しました。これは主に1年内償還予定の社債が100億円増加した一方、営業外電子記録債務が72億23百万円減少したことによるものであります。固定負債は497億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億35百万円減少しました。これは主に長期借入金が38億69百万円、繰延税金負債が13億65百万円、退職給付に係る負債が4億80百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,041億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億19百万円減少しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,932億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億95百万円増加しました。これは主に利益剰余金が118億81百万円増加した一方、減少要因として自己株式が14億19百万円増加、その他有価証券評価差額金が33億43百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.8%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は308億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億88百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は259億1百万円となり、前連結会計年度に比べ5億64百万円増加しました。これは主に、増加要因として税金等調整前当期純利益が26億71百万円、売上債権の増減によるキャッシュ・フローが15億83百万円それぞれ増加した一方、減少要因としてその他の負債の増減によるキャッシュ・フローが20億33百万円、投資有価証券売却損益によるキャッシュ・フローが10億33百万円、固定資産売却損益によるキャッシュ・フローが8億39百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は198億67百万円となり、前連結会計年度に比べ29億75百万円増加しました。これは主に、増加要因として有形固定資産の取得による支出が44億30百万円増加した一方、減少要因として投資有価証券の売却による収入が16億17百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は5億84百万円となり、前連結会計年度に比べ110億75百万円減少しました。これは主に、資金の増加要因として社債の償還による支出が100億円、自己株式の取得による支出が15億91百万円それぞれ減少した一方、資金の減少要因として、配当金の支払額が3億12百万円増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	61.0	63.7	63.3	64.8
時価ベースの 自己資本比率 (%)	57.3	65.6	59.0	46.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (%)	239.9	210.5	188.0	205.5
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	125.5	124.3	149.6	136.7

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響は日々深刻化してきており、いまだ収束時期が見通せないことから当社を取り巻く環境は厳しい状況が続くものと思われま

す。
このような状況のもと、業績への影響を最小限にすべく事業活動を行ってまいります。次期の業績予想につきましては、合理的な算定が現段階において困難であることから未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、連結配当性向30%を目途として配当を実施することを基本方針としております。

2020年3月期の期末配当は1株につき38円とし、中間配当と合わせた年間配当は76円となります。

また、2021年3月期の配当金につきましては、現段階では未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、業績予想とあわせて速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,940	31,502
受取手形及び売掛金	33,389	32,463
電子記録債権	3,711	3,619
有価証券	10,276	896
商品及び製品	5	3
原材料及び貯蔵品	429	452
その他	4,663	4,542
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	69,401	73,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	180,094	186,986
減価償却累計額	△95,157	△100,156
建物及び構築物 (純額)	84,936	86,829
機械装置及び運搬具	46,923	48,897
減価償却累計額	△38,382	△40,774
機械装置及び運搬具 (純額)	8,540	8,122
工具、器具及び備品	7,778	8,216
減価償却累計額	△6,355	△6,846
工具、器具及び備品 (純額)	1,422	1,370
土地	91,226	94,000
リース資産	672	647
減価償却累計額	△410	△460
リース資産 (純額)	262	187
建設仮勘定	3,921	5,203
有形固定資産合計	190,310	195,714
無形固定資産		
投資その他の資産	1,937	2,007
投資有価証券	23,542	17,483
長期貸付金	533	803
繰延税金資産	3,646	3,508
その他	4,942	4,575
貸倒引当金	△100	△67
投資その他の資産合計	32,563	26,303
固定資産合計	224,811	224,024
資産合計	294,213	297,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,330	11,265
電子記録債務	4,401	4,222
短期借入金	3,905	3,869
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	115	104
未払法人税等	3,927	4,217
賞与引当金	3,860	3,609
役員賞与引当金	196	213
設備関係支払手形	1,585	2,872
営業外電子記録債務	8,266	1,043
その他	13,868	13,055
流動負債合計	51,458	54,474
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	22,616	18,746
リース債務	172	99
繰延税金負債	5,332	3,967
退職給付に係る負債	5,699	5,218
役員退職慰労引当金	303	384
その他	1,728	1,302
固定負債合計	55,853	49,718
負債合計	107,312	104,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	158,372	170,254
自己株式	△4,767	△6,186
株主資本合計	177,253	187,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,291	6,948
為替換算調整勘定	△375	△1,520
退職給付に係る調整累計額	△831	△363
その他の包括利益累計額合計	9,084	5,064
新株予約権	354	320
非支配株主持分	208	194
純資産合計	186,900	193,296
負債純資産合計	294,213	297,489

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
運送収入	93,294	93,647
倉庫収入	28,710	31,056
梱包収入	47,148	46,882
その他の収入	28,538	27,926
売上高合計	197,693	199,512
売上原価		
運送原価	83,212	83,711
倉庫原価	21,255	21,943
梱包原価	40,641	40,638
その他の原価	22,830	22,311
売上原価合計	167,939	168,605
売上総利益	29,753	30,906
販売費及び一般管理費		
人件費	5,803	6,123
賞与引当金繰入額	354	343
役員賞与引当金繰入額	196	213
退職給付費用	126	140
役員退職慰労引当金繰入額	64	110
減価償却費	484	502
租税公課	1,227	1,209
旅費及び交通費	337	319
貸倒引当金繰入額	3	△33
その他	1,867	1,895
販売費及び一般管理費合計	9,724	10,015
営業利益	20,028	20,890
営業外収益		
受取利息	104	107
受取配当金	658	644
受取賃貸料	86	89
持分法による投資利益	647	472
助成金収入	148	325
受取補償金	389	15
雑収入	398	669
営業外収益合計	2,433	2,324
営業外費用		
支払利息	168	190
為替差損	32	270
社債発行費	52	55
控除対象外消費税等	21	97
雑支出	167	76
営業外費用合計	443	690
経常利益	22,019	22,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	98	894
投資有価証券売却益	—	1,036
特別利益合計	98	1,931
特別損失		
固定資産売却損	75	31
固定資産除却損	310	9
投資有価証券評価損	0	0
投資有価証券売却損	—	3
減損損失	1	9
特別損失合計	387	54
税金等調整前当期純利益	21,730	24,401
法人税、住民税及び事業税	7,301	7,633
法人税等調整額	△348	39
法人税等合計	6,953	7,673
当期純利益	14,777	16,728
非支配株主に帰属する当期純利益	9	6
親会社株主に帰属する当期純利益	14,768	16,721

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	14,777	16,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,145	△3,343
為替換算調整勘定	449	△1,144
退職給付に係る調整額	△228	468
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	△17
その他の包括利益合計	△2,970	△4,037
包括利益	11,806	12,691
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,795	12,702
非支配株主に係る包括利益	11	△10

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,316	12,332	148,112	△1,716	170,044
当期変動額					
剰余金の配当			△4,506		△4,506
親会社株主に帰属する 当期純利益			14,768		14,768
自己株式の取得				△3,066	△3,066
自己株式の処分			△2	15	13
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	10,260	△3,051	7,208
当期末残高	11,316	12,332	158,372	△4,767	177,253

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	13,437	△777	△603	12,056	321	204	182,627
当期変動額							
剰余金の配当							△4,506
親会社株主に帰属する 当期純利益							14,768
自己株式の取得							△3,066
自己株式の処分							13
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,145	401	△228	△2,972	32	4	△2,935
当期変動額合計	△3,145	401	△228	△2,972	32	4	4,273
当期末残高	10,291	△375	△831	9,084	354	208	186,900

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,316	12,332	158,372	△4,767	177,253
当期変動額					
剰余金の配当			△4,818		△4,818
親会社株主に帰属する 当期純利益			16,721		16,721
自己株式の取得				△1,475	△1,475
自己株式の処分			△21	55	33
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	11,881	△1,419	10,462
当期末残高	11,316	12,332	170,254	△6,186	187,716

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	10,291	△375	△831	9,084	354	208	186,900
当期変動額							
剰余金の配当							△4,818
親会社株主に帰属する 当期純利益							16,721
自己株式の取得							△1,475
自己株式の処分							33
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,343	△1,144	468	△4,019	△33	△13	△4,067
当期変動額合計	△3,343	△1,144	468	△4,019	△33	△13	6,395
当期末残高	6,948	△1,520	△363	5,064	320	194	193,296

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	21,730	24,401
減価償却費	9,712	10,413
賞与引当金の増減額 (△は減少)	224	△281
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	△31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	251	216
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	65
受取利息及び受取配当金	△763	△751
支払利息	168	189
持分法による投資損益 (△は益)	△647	△472
固定資産売却損益 (△は益)	△22	△862
売上債権の増減額 (△は増加)	△492	1,091
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,033
その他の資産の増減額 (△は増加)	244	397
仕入債務の増減額 (△は減少)	200	△37
その他の負債の増減額 (△は減少)	571	△1,461
その他	197	704
小計	31,427	32,559
利息及び配当金の受取額	1,229	1,372
利息の支払額	△169	△189
法人税等の支払額	△7,150	△7,841
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,337	25,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,453	△778
定期預金の払戻による収入	9,451	771
有価証券の取得による支出	△1,054	△5,444
有価証券の売却及び償還による収入	220	5,856
有形固定資産の取得による支出	△18,010	△22,440
有形固定資産の売却による収入	779	1,231
無形固定資産の取得による支出	△189	△368
投資有価証券の取得による支出	△32	△89
投資有価証券の売却による収入	—	1,617
貸付けによる支出	△501	△520
貸付金の回収による収入	94	118
関係会社株式の取得による支出	△539	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△671	—
その他	14	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,892	△19,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	177
短期借入金の返済による支出	—	△197
長期借入金の返済による支出	△3,876	△3,885
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	5,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△5,000
自己株式の取得・売却による収支	△3,066	△1,475
社債の発行による収入	10,000	10,000
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△4,506	△4,818
非支配株主への配当金の支払額	△8	△5
その他	△200	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,659	△584
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	△102
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,071	5,347
現金及び現金同等物の期首残高	28,302	25,231
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	241
現金及び現金同等物の期末残高	25,231	30,820

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、提供するサービスの種類により「運送事業」、「倉庫事業」、「梱包事業」及び「テスト事業」の4つを報告セグメントとしております。

「運送事業」は、四輪・二輪完成自動車及び自動車部品、住宅設備、農業用機械等の輸送を行っております。「倉庫事業」は、四輪・二輪完成自動車及び自動車部品、住宅設備、農業用機械等の保管を行っております。「梱包事業」は、流通加工、自動車部品等の納入代行、輸出梱包等を行っております。「テスト事業」は、四輪・二輪完成自動車及び自動車部品、農業用機械等のテストを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益であります。セグメント間取引は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	93,294	28,710	47,148	22,213	191,367	6,325	197,693	—	197,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	306	357	370	1	1,035	2,137	3,172	△3,172	—
計	93,601	29,068	47,518	22,214	192,402	8,463	200,865	△3,172	197,693
セグメント利益	5,467	6,404	4,001	3,902	19,775	323	20,098	△69	20,028
セグメント資産	91,990	90,880	50,182	15,355	248,409	35,973	284,383	9,829	294,213
その他項目									
減価償却費(注)3	2,988	4,289	1,120	732	9,130	582	9,712	—	9,712
持分法適用会社への投資 額	1,942	—	242	—	2,185	979	3,165	—	3,165
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注)3	5,811	11,027	4,044	2,916	23,800	2,113	25,914	—	25,914

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△69百万円は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

セグメント資産の調整額 9,829 百万円は、主に親会社での余資運用資金(預金及び有価証券等)、長期投資資金(投資有価証券)などであります。

3. 「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	93,647	31,056	46,882	22,209	193,795	5,716	199,512	—	199,512
セグメント間の内部 売上高又は振替高	284	343	434	8	1,070	2,103	3,174	△3,174	—
計	93,931	31,400	47,316	22,217	194,866	7,820	202,686	△3,174	199,512
セグメント利益	5,200	7,751	3,705	4,001	20,657	351	21,009	△119	20,890
セグメント資産	95,246	96,359	51,251	16,555	259,413	37,297	296,710	778	297,489
その他項目									
減価償却費（注）3	3,163	4,601	1,195	900	9,861	546	10,407	—	10,407
持分法適用会社への投資 額	1,115	—	216	—	1,331	997	2,329	—	2,329
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額（注）3	4,422	7,314	1,035	1,246	14,019	2,529	16,548	—	16,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△119百万円は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

セグメント資産の調整額778百万円は、余資運用資金（定期預金等）、長期投資資金（投資有価証券）などであります。

3. 「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		当連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日	
1株当たり純資産額	2,810円70銭	1株当たり純資産額	2,932円77銭
1株当たり当期純利益金額	221円03銭	1株当たり当期純利益金額	254円01銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	220円22銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	253円11銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		当連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日	
	(1) 1株当たり当期純利益金額			
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)		14,768		16,721
普通株式に帰属しない金額(百万円)		—		—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)		14,768		16,721
普通株式の期中平均株式数(千株)		66,816		65,830
(2) 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額				
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)		—		—
普通株式増加数(千株)		245		234
(内 新株予約権(千株))		(245)		(234)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要		—		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。